

# CMS 仕様書

## この資料について

この仕様書は、株式会社オープンソース・ワークショップが小学校、中学校、高等学校、大学等の学校や研究所、保育園、学会、NPO、社団法人、財団法人、行政関連機関、企業等の情報公開Webサイト（いわゆるホームページ）及び組織内の情報共有Webサイトに関わる中で必要と考えて策定した内容です。

当社で開発し、オープンソース・ソフトウェアとして公開しているConnect-CMSは、この仕様をもとに実装されたものです。

また、この仕様はConnect-CMSにのみ当てはまるものではなく、Webサイトを構築する際の一般的な仕様として検討、策定したものであるため、様々なWebサイトの構築において流用できるように、ここに公開いたします。

当社はオープンソース・ソフトウェアを通して社会貢献を行うことを自らの役割としているため、この仕様に関しても公開し、自由に流用していただくことで社会への一つの貢献とさせていただきます。

## お問い合わせ

株式会社オープンソース・ワークショップ  
〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目13番 1-4807号  
TEL : 03-5534-8088 FAX : 03-5534-8188  
email : [info@opensource-workshop.jp](mailto:info@opensource-workshop.jp)  
web : <https://opensource-workshop.jp/>

# 機能仕様

## 1 管理者向け機能：管理者向けの機能として以下の内容を実現すること。

### 1.1 管理画面

#### 1.1.1

バージョン把握のため、管理画面でインストールされているバージョンが表示されること。

### 1.2 ページ管理

1.2.1 ページの一覧が表示されること。

1.2.2 ページの登録と変更が行えること。

1.2.3 ページには固定リンクを設定できること。

1.2.4 パスワードで保護されたページを作成できること。

1.2.5 ページにはCSS等からなるデザインテーマを設定できること。

1.2.6 ページは組織内や特定の環境からのみ閲覧できるようにするため、IPアドレスで閲覧制限できること。

1.2.7 メニューに表示されるページの順番を変更できること。

1.2.8 ページは階層構造を作成できること。

1.2.9 ページは作成後に階層を変更できること。

1.2.10 管理作業の分散のため、ページ毎に編集できるユーザを設定できること。

1.2.11 ページはCSVファイルをインポートして作成できること。

### 1.3 サイト管理

1.3.1 サイト名、CSS等のデザインテーマ、ログインリンクの表示の有無、画像の保存を無効化することができること。

#### 1.3.2

パスワードがわからなくなった場合のためにユーザ自らパスワードリセットができること。

1.3.3 HTMLのmeta情報を設定できること。

1.3.4 複数の言語対応サイトの作成を可能にするため、使用する言語を設定できること。

1.3.5 言語間で同じ意味のページを行き来できるようになっていること。

#### 1.3.6

複数の言語ページを作成した際、メニューには閲覧中の言語のページが表示されていること。

1.3.7 アクセス解析用にGoogle Analyticsタグの埋め込みができること。

1.3.8 Favicon用画像のアップデートができること。

## 2 一般ユーザ向け機能：一般権限ユーザ及びゲスト向けの機能として以下の内容を実現すること。

### 2.1 固定記事

2.1.1 ページ上に任意の文章を表示、画像の挿入、ファイルの添付ができること。

#### 2.1.2

編集方法はWYSIWYG方式などでHTMLを理解していない編集者でも容易に編集できること。

### 2.2 ブログ

2.2.1 ブログを作成できること。

2.2.2 ブログは用途ごとに作成でき、記事はWYSIWYG形式で記載できること。

2.2.3 権限により投稿、承認が設定できること。

2.2.4 投稿、承認、承認済みの各タイミングでメールによる通知の設定ができること。